

松代地区の文化財の教育利用促進について

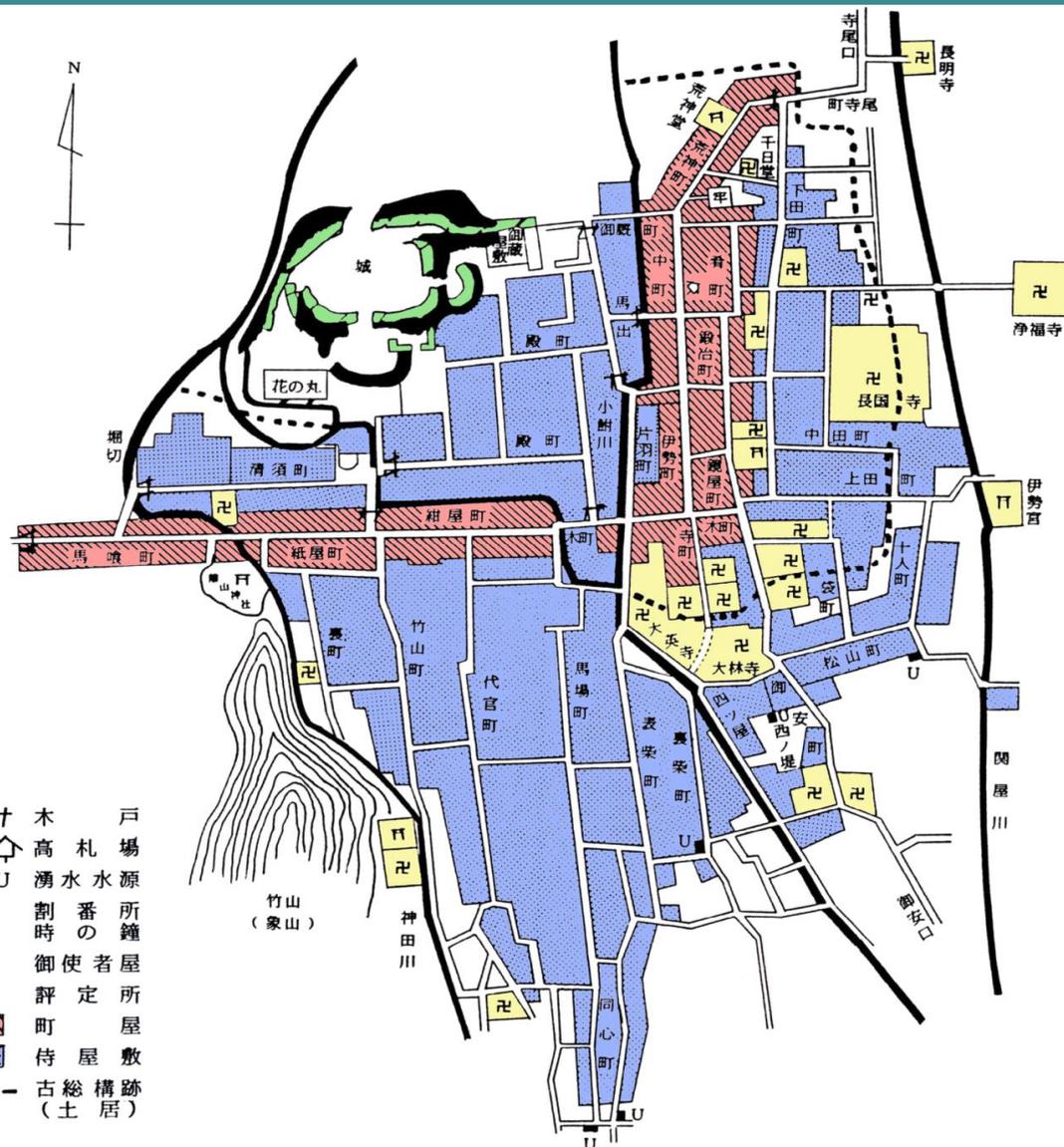
松代城下町の特徴

(歴史的経過)

- ・永禄3(1560)年頃、海津城築城
- ・東・南・西の三方を山地に、北を千曲川に囲まれた城下町
- ・北西隅の松代城より南東方向に町が広がる
- ・元和8(1622)年に、真田信之が上田より移封された頃に原型
- ・谷街道(北国脇往還)沿いに町屋
- ・城下町東部に寺社が集中

(現況)

- ・江戸時代の町割・水系が良好に残る
- ・武家屋敷・町屋・寺社などの町割が往時とほぼ変わらない



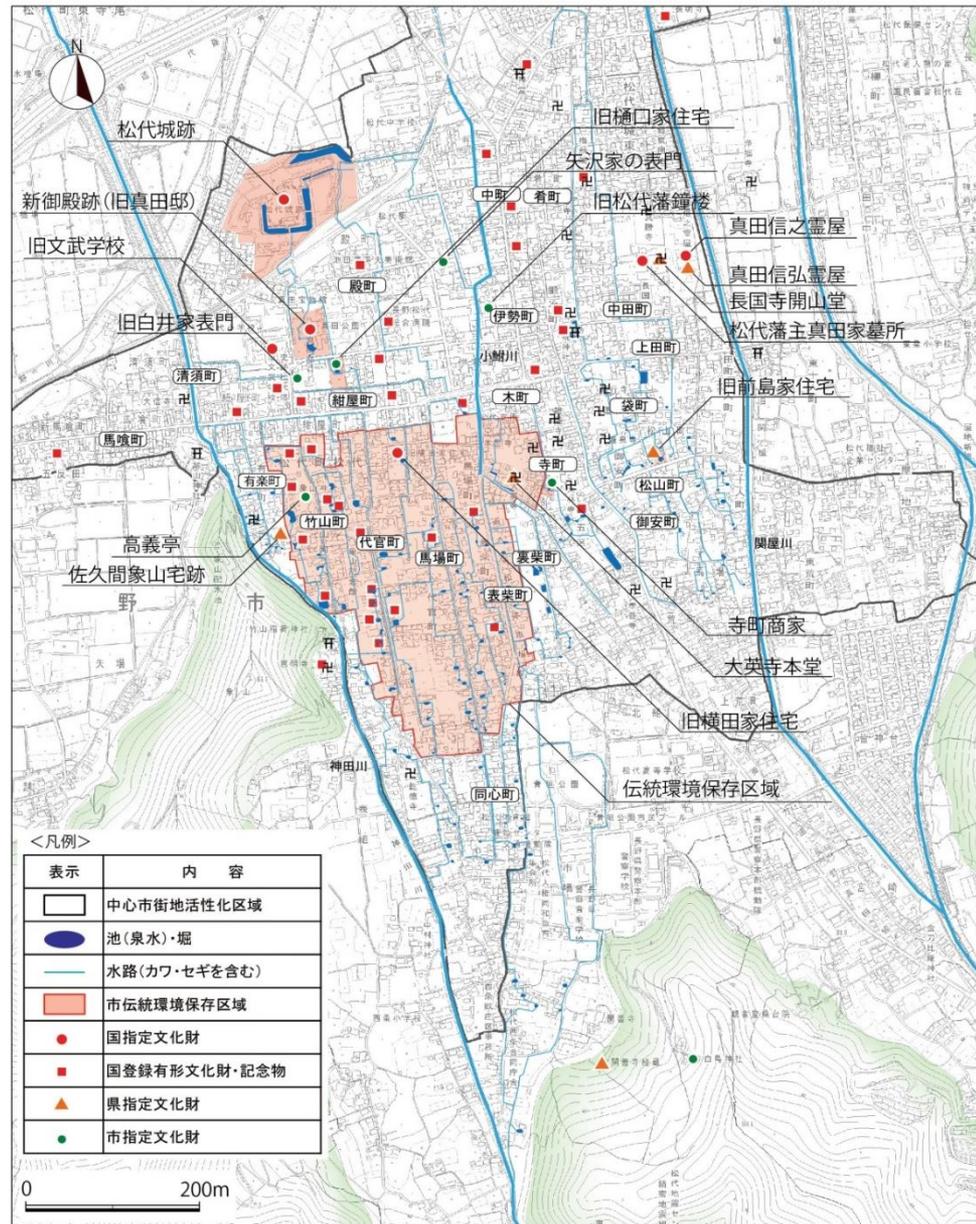
- | | | |
|-----|-----|-----|
| ■ | 木高湧 | 戸場 |
| ▲ | 札水 | 所鐘 |
| ■ | 水番 | 屋敷 |
| ■ | 割時 | 御使 |
| ■ | 評定 | 町屋 |
| ■ | 町屋 | 侍屋敷 |
| --- | 古総 | 跡居 |

市内指定等文化財の1/3が松代に集中

松代町には、江戸時代を中心に数多くの文化財が残っている。

長野市内全547件の指定等文化財のうち、154件が松代に存在。

- ・国指定文化財：12件
(重要文化財7、史跡5)
- ・県指定文化財：16件
(県宝12、史跡3、天然記念物1)
- ・市指定文化財：37件
(建造物10、絵画1、彫刻4、工芸品1、書跡1
古文書4、歴史資料1、無形文化財2、
民俗文化財3、史跡6、天然記念物4)
- ・国登録文化財：89件
(建造物79(37箇所)、記念物(名勝)8)



松代地区の水路と庭園



・永禄3年(1560)頃に甲斐の武田信玄 が北信濃進出の前進拠点として築城。戦国時代から明治の廃城までの約300年間続いた城郭。

・甲州流築城技術を受け継ぐ、三日月堀や丸馬出しなどの特徴的な遺構。

・真田信之の入部以降、真田家の居城として明治の廃城まで存続。

・北信濃の歴史を伝える上で、欠かすことができない貴重な遺跡。

昭和56年4月 国指定史跡

平成7～15年 第1期整備事業

平成18年「日本百名城」に選定

平成27年10月 国史跡追加指定

(整備の目標)

第2期整備では、史跡内の「三日月堀」や「丸馬出し」等の特徴的な遺構を整備することにより、武田氏による築城技術を受け継いだ真田氏の居城としての特色を、分かりやすく表現する。

◎整備の基本方針

①二の丸石場門周辺の復元

- ・第2期整備では、二の丸東側からの出入口空間の復元的整備がメイン
- ・二の丸石場門の復元整備を目指す
- ・石場門周辺の外堀・三日月堀を水堀復元

②二の丸土塁の整備と広大な外堀の整備

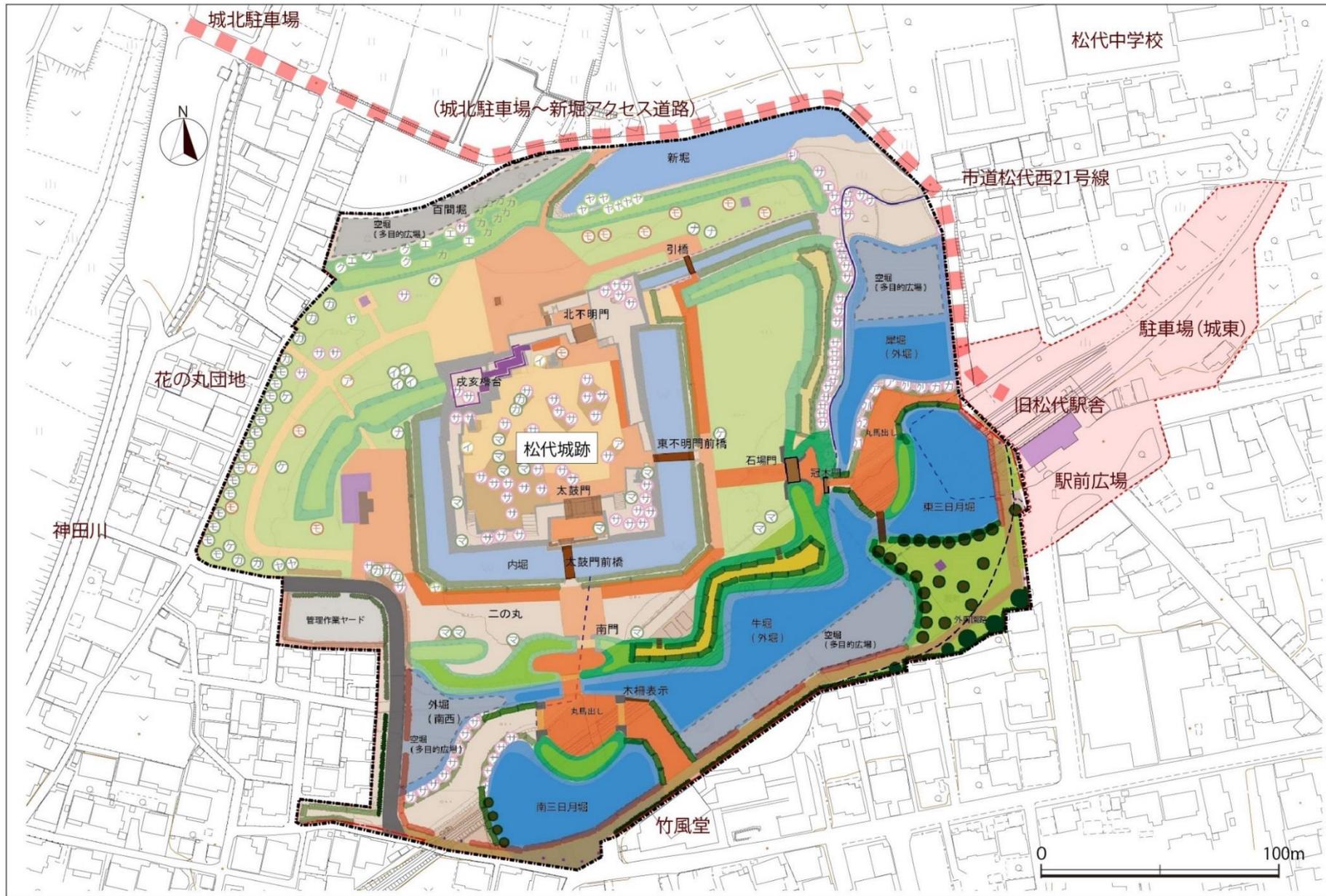
- ・南側の三日月堀や外堀は、堀が指定範囲外まで広がるため、土塁と馬出し空間の再現
- ・外堀は、土塁隣接部など一部水堀を再現

③外周園路の確保

- ・来訪者及び地域住民用の外周園路を整備
- ・既存市道等の付け替え

④第1期保存整備範囲の再整備

- ・既存整備箇所^①の再整備(修理・改善)
(木橋・木製階段・木柵・照明設備等)



文久2年(1862)に、真田家9代藩主幸教の義母のために築造された城外御殿。

その後、藩主の隠居所としても利用され、明治の廃城以後は真田家の別邸となる。

幕末期の城外御殿であり、複数棟の建物、庭園が一体となって残る貴重な御殿建築。

・昭和56年4月 国指定史跡

(保存修理事業)

・期間:昭和60~平成元年度

・事業内容:土蔵3棟・表門南北長屋の保存修理

・期間:平成16~24年度

・事業内容

(御殿・土蔵7棟・長屋、物見、庭園の保存修理 など)

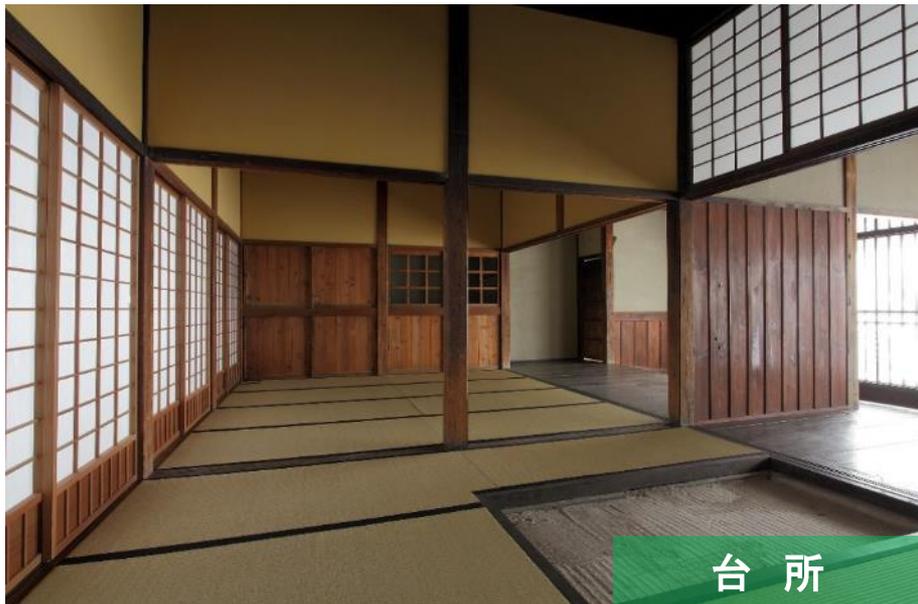




御寝所



御湯殿



台所



庭園
(ライトアップ)



真田家墓所
昭和62年12月 国指定史跡
(長国寺)



安政2年(1855)、真田家9代藩主幸教の時に開校した松代藩の藩校。

文学所・剣術所・柔術所・弓術所・槍術所・東序・西序など、創建時の建物がほぼ完全な状態で原位置に残る唯一の藩校。

昭和28年3月 国指定史跡

・映画ロケやイベントなど、年間100件を超える利用

(昭和の大修理)

- ・期間: 昭和49～53年度
- ・事業内容: 保存修理、復元

(平成の大修理)

- ・期間: 平成23～令和2年度
- ・事業内容: 保存修理、耐震診断、耐震補強





文学所
(ガイダンス)



柔術所
(砲術体験)



文学所
(着物体験)



西序
(学習体験)



槍術所
(古武道)



弓術所
(弓道体験)



西序
(箏曲)



文学所
(華道)

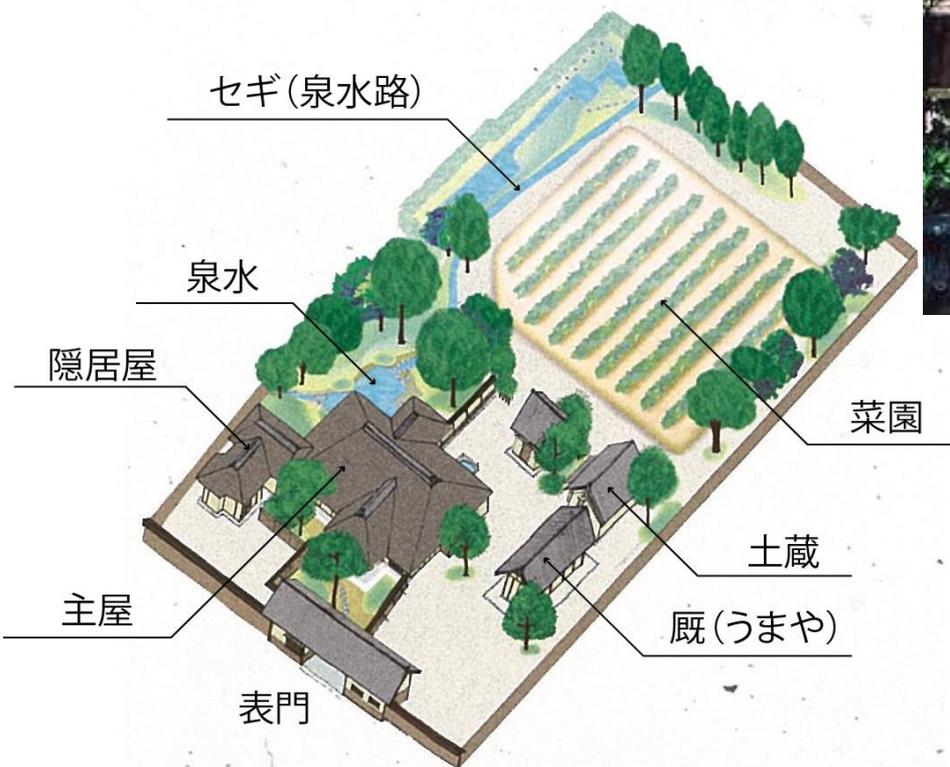
旧横田家住宅(国重要文化財)

13

藩の表御用役人などを勤めた松代藩真田家家臣、横田家の屋敷。

表門や主屋、隠居屋、土蔵2棟、厩などが残っており、裏の菜園を含めた敷地全体が往時の景観を留めている。

昭和61年1月 国指定重要文化財



(昭和～平成の修理)

- ・期間: 昭和63～平成3年度
- ・事業内容: 全面解体修理

(平成～令和の修理)

- ・期間: 平成30～令和2年度
- ・事業内容: 屋根葺替、耐震補強



真田信之の松代入封後、割番所と呼ばれる足軽番所が置かれ、寛永年間に火之見櫓兼鐘楼が設けられた。鐘楼は、享保2年(1717)の火災以降、再建と焼失を繰り返し、現在の建物は享和元年(1801)に再建された。

幕末には、松代藩士の佐久間象山が、日本初の電信機実験を行ったという伝承が残される。

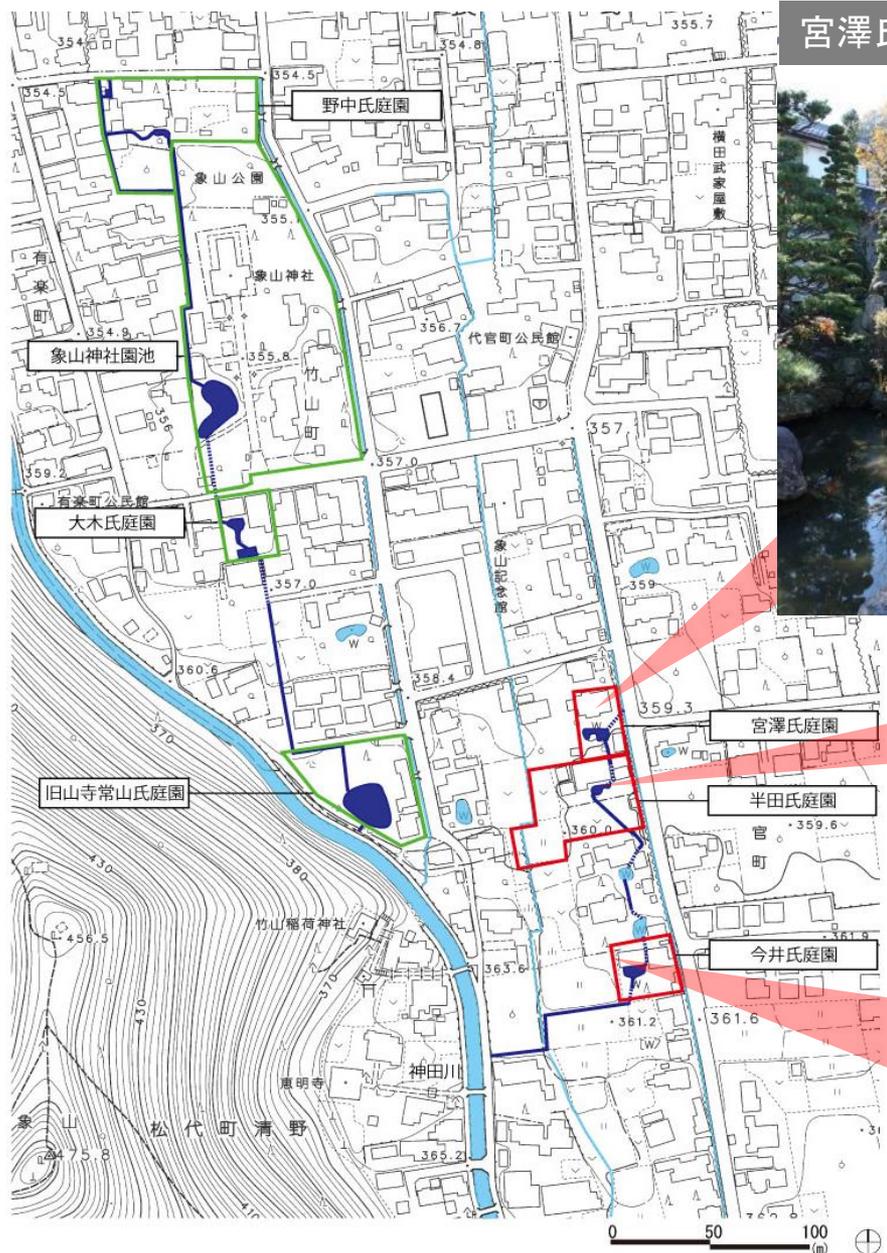
昭和42年12月 市指定有形文化財

(平成の修理)

- ・期間:平成23～25年度
- ・事業内容:保存修理、補強
鐘付装置の改修



城下町の庭園群(国登録記念物(名勝地))



宮澤氏庭園



松代地区内で計8件の国登録記念物(名勝地)がある。
平成20年4件、平成26年3件、
令和2年1件が登録

半田氏庭園



今井氏庭園



寺町商家(市指定有形文化財)

17

江戸時代末から昭和初期まで質屋を営んだ商家金箱家の屋敷。積極的な活用を目指し、開設当初から厨房設備やエアコン等を整備。地域住民や観光客等の交流拠点として様々な形で活用されている。

平成24年4月 市指定有形文化財

(保存修理)

- ・期間:平成24～26年度
- ・内容:保存修理、機械設備





日本最大の積石塚古墳群で、積石塚・合掌型石室という全国的にも珍しい構造を持つ古墳が集中存在するのが特徴。古墳群全体で約500基(史跡内166基)の古墳が群集

平成9年7月 国指定史跡

(第1期整備)

期間:平成9~23年度

内容:エントランスゾーン、施設整備ゾーン

(第2期整備)

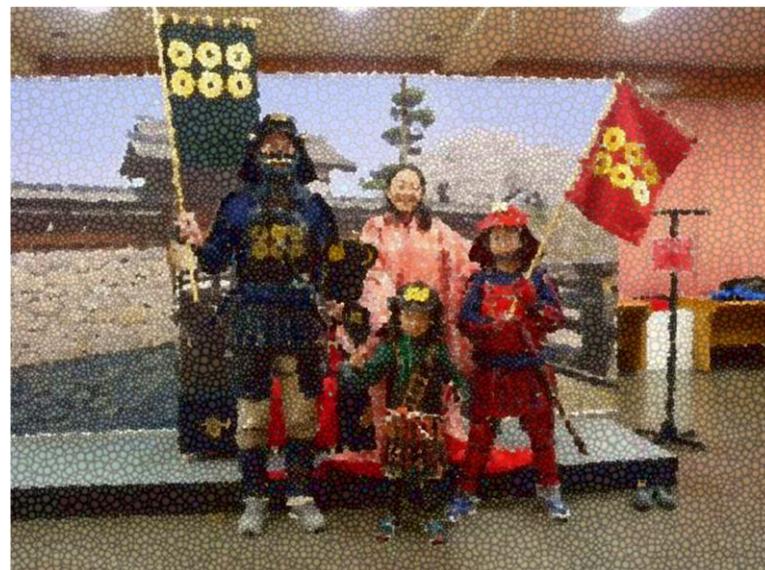
期間:平成26~令和10年度(予定)

内容:遺構復元整備ゾーン

生涯学習や観光の資源



かざぐるまをつくろう(旧横田家住宅)



甲冑着用体験(真田宝物館)

主な活用主体

長野市のほか、松代地区住民自治協議会、
長野商工会議所松代支部、

NPO法人 夢空間 松代のまちと心を育てる会、
松代文化財ボランティアの会、信州松代観光協会、
エコール・ド・まつしろ倶楽部

松代藩真田十万石まつり
(松代城ほか城下一円)



EバイクでE旅



松代エール試飲会(寺町商家)



ライトアップ(松代城ほか)



学校教育における利用は、

- ・松代地区の小中学校を中心に、学区や地域の歴史・特色の学習
- ・教員の研修（夏期大学）
- ・遠足や社会見学 など

まだまだ限定的

学校教育の中における市内文化財の位置づけを
明確にし、授業での活用の可能性を探る



まずは、

- ・学習指導要領、教科書の単元等に合致
- ・長野市外出身の先生にもわかりやすい
- ・授業に生かせる素材として

文化財の情報を学習指導案作成を通して提供
するところから開始

小学3年 = 身近な地域や長野市の様子など

4年 = 長野県の地理的環境の特色など

5年 = 地理

6年 = 公民・歴史

中学1年 = 地理・歴史（～安土桃山時代）

2年 = 地理・歴史（江戸時代）

3年 = 公民・歴史（明治～）

～松代地区の文化財は、江戸時代が中心～

⇒教科書等に沿って授業に生かせる素材の
情報として提供

学習指導要領(抜粋)

小学校6年:江戸幕府の始まり、参勤交代など幕府の政策を理解すること

中学校:江戸幕府の成立と大名統制などを基に藩と幕府による支配が確立したことを理解すること

【中学】東京書籍『新編 新しい社会 歴史』

武家諸法度(1615年)

- 学問と武芸にひたすら精をだすようにしなさい。
- 諸国の城は、修理する場合であっても、必ず幕府に申し出ること。まして新しい城を造ることは厳しく禁止する。
- 幕府の許可なく、婚姻を結んではならない。

武家諸法度

信濃国川中嶋松代城修復堀浚之覚

- 一、本丸南之方石垣折廻壹箇所崩申候
- 一、同所東之方石垣折廻壹箇所崩申候
- 一、同所南之方橋壹箇所落申候
- 一、同所東之方橋壹箇所落申候
- 一、二丸北之方橋壹箇所落申候
- 一、堀々泥砂押込埋申候
- 一、塀拾貳箇所倒申候

右今度洪水二付石垣崩堀々埋所々塀倒橋三箇所落申候付而右石垣築直堀浚等之儀朱引之通以連々如元修補仕度奉願候以上

寛保二^壬戌年十二月

真田豊後守

印判 居判



【中学】東京書籍『新編 新しい社会 歴史』

第3代将軍徳川家光は、参勤交代を制度として定めました。これ以後、大名は原則、1年おきに領地と江戸とを往復することになり、その費用や江戸での生活のため多くの出費を強いられました。

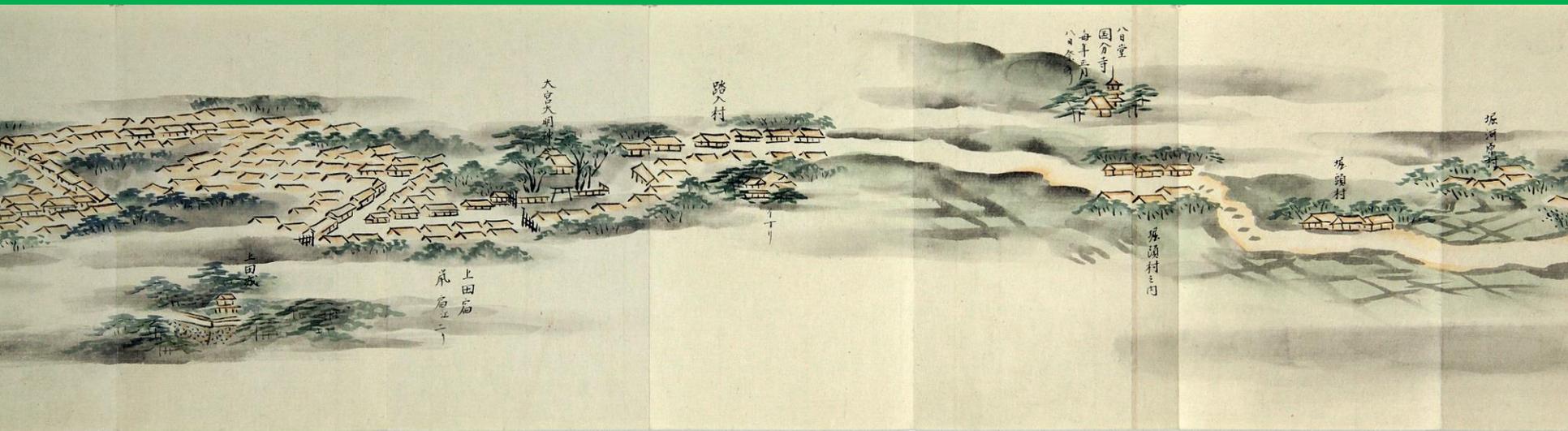
真田家文書 松代藩の参勤交代 300人規模

経費258両～341両 5泊6日



従江戸松代迄明細記(真田宝物館)





文化2(1804)年

【松代藩7代藩主 真田幸専の参勤】

6/1松代発⇒ 6/1海野泊⇒ 6/2坂本泊⇒

6/3倉賀野泊⇒ 6/4熊谷泊⇒ 6/5浦和泊⇒

6/6江戸着

授業素材の情報提供可能な主な単元

【小6】東京書籍『新しい社会 6 歴史編』

縄文のむらから古墳のくにへ
戦国の世から天下統一へ
江戸幕府と政治の安定
町人の文化と新しい学問
明治の国づくりを進めた人々 等

【中学】東京書籍『新編 新しい社会 歴史』

大王の時代
織田信長・豊臣秀吉による統一事業
江戸幕府の成立と支配の仕組み
開国と不平等条約
江戸幕府の滅亡 等

【小学校社会】 博物館や資料館などの施設の活用を図るとともに、身近な地域及び国土の遺跡や文化財などについての調査活動を取り入れるようにすること

地域の実態を生かし、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにするとともに、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の一層の充実を図ること

【中学校社会】 身近な地域の歴史上の人物と文化遺産を取り上げることにも留意すること

地域の特性に応じた時代を取り上げるようにするとともに、人々の生活や生活に根ざした伝統や文化に着目した取扱いを工夫すること。その際、博物館や郷土資料館などの地域の施設の活用や地域の人々の協力も考慮すること

松代地区文化財の教育利用促進に向けて 真田宝物館に期待される機能

- ・松代城下町のガイダンス機能
- ・実物資料を使用した学習機能
- ・担当教員の研修機能
- ・児童・生徒の休憩場所

真田宝物館の概要

旧 館	: 昭和38年築	RC造
新 館	: 昭和52年築	RC造
休憩所	: 昭和58年築	W造
収蔵庫	: 昭和63年築	RC造

